



ふれあい図書館まつり

■2月16日、サンフレッシュ枕崎で開催されました。約300人の来場者は、市内読み聞かせボランティアグループによる劇や紙芝居を楽しんでいました。



第26回枕崎市表現・ダンス発表会

■2月7日、市民会館で開催されました。市内の小・中学校、高校から10組が出演し、それぞれが体全体を使ったいきいきとした発表を見せました。



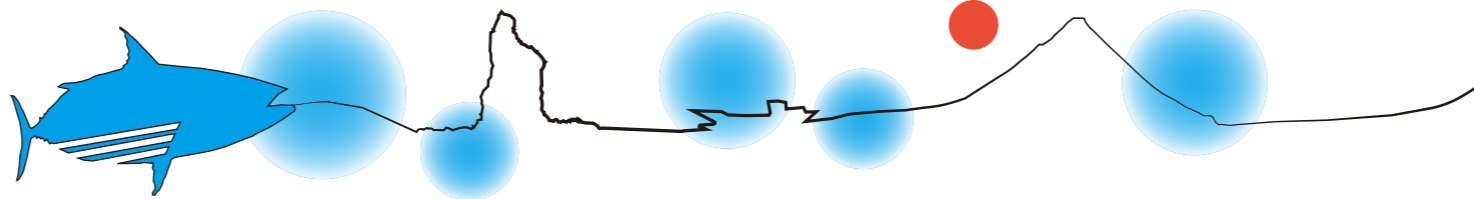
大会の成功を誓う

■11月9日に開催される「かごしまお茶まつり・枕崎大会」に向けての決起大会が1月29日、枕崎観光ホテル岩戸で開催され、出席した茶農家や関係者約90人が、大会の成功を誓いました。



「食」の大切さを学ぶ

■学校給食記念日の1月24日、「食」の大切さを学ぶための授業が金山小学校で行われ、児童たちは水産加工業組合の職員を先生に地元食材「かつお節」について学びました。



枕崎の観光ポスター写真が決定 ～枕崎市観光ポスターデザインコンテスト審査会

枕崎市観光協会主催による「枕崎市観光ポスターデザインコンテスト」の審査会が、2月13日に水産センターで行われました。コンテストには県内外から77作品の写真・絵画の出品がありました。4人の審査員による審査の結果、市内在住の有園由貴子さんの写真「立神岩」が優秀賞に選ばれました。今回のコンテストを主催し、審査委員長を務めた市観光協会の揚野卓郎会長は「色んなアングルからの枕崎を見ることができ、枕崎の良さを改めて実感しました。応募くださった皆さんの一生懸命さに感謝しています」と話していました。その他の審査の結果や優秀作品については、観光協会ホームページ「まくらぎ」で紹介されます。(まくらぎホームページ：<http://makutabi.jp/>)



飲酒運転、交通事故ゼロを目指して ～交通安全講演会

枕崎地区安全運転管理協議会主催による交通安全講演会が2月15日、地場産業振興センターで開催されました。福岡市のNPO法人はあとスペース代表の山本美也子さんを講師に、「思いやりで社会を変える～飲酒運転撲滅への願い～」の演題で講演は行われました。飲酒運転による事故で子どもを亡くした山本さんのさまざまな体験談や飲酒運転撲滅を目指しての活動について話があり、



▲飲酒運転をしないことを誓う参加者

山本さんは「飲酒運転による事故を無くすためにいちばん大事なのは、加害者を出さないこと」と飲酒運転撲滅を訴えました。最後には参加者全員で飲酒運転を絶対しないことを誓いました。

防災・災害復興現場での男女共同参画を学ぶ ～まくらぎきハーモニーフェスティバル

男女共同参画社会の実現を目的とした「まくらぎきハーモニーフェスティバル」が2月8日、地場産業振興センターで開催されました。

今回は、「防災・災害復興における男女共同参画の必要性について」と題した講演が行われ、講師の山地久美子さん(大阪府立大学客員研究員)が、災害時に復興過程で困難な状況に置かれることの多い女性や高齢者が声を上げていくことの大切さや、その声をどのようにして防災を考える場で反映させていくかについて話をしました。山地さんは「女性だけ男性だけでなく、誰もが対応できるように、日ごろからの訓練や対策が必要」と日常からの男女共同参画の必要性について訴えました。



川辺チーム健闘の総合3位 ～第61回県下一周市郡対抗駅伝競走大会

第61回県下一周市郡対抗駅伝競走大会が2月15日から5日間の日程で開催され、川辺チームは総合3位と健闘しました。

初日の15日は本市を通過。第8中継所の枕崎市役所には多くの市民が集まり、通過する選手に声援を送っていました。また会場では恒例となった「まくらぎきハーモニーネットワーク委員会」による茶節と腹皮の唐揚げの振る舞いもありました。

立神中学校出身の田畑庸祐選手は3回出走し、1日目の7区では区間賞を獲得しました。また別府中学校出身の二宮僚麻選手は2回出走し、力走を見せていました。



2団体が優良団体として奨励賞を受賞 ～県共生・協働型地域コミュニティづくり推進優良団体表彰

県共生・協働型地域コミュニティづくり推進優良団体に、NPO法人風は南から(下竹重則理事長・写真左)と枕崎七夕の会(板敷浩実会長・同右)が選出され、県コミュニティづくり推進協議会奨励賞を受賞しました。

NPO法人風は南からは、自然体験等とおして、子ども・親子・地域住民等との交流を促進し、地域コミュニティの強化に資する活動を行っています。下竹理事長は「地道な活動でも評価していただき、大変うれしく思います。今後も多くの方々力を借りて5年・10年後に花が咲くような人の種まきを行ってまいります」と話していました。

枕崎七夕の会は、七夕飾りの制作を多くの市民に呼びかけ、商店街等に飾ることで失われつつある郷土文化の継承を図るとともに、趣向を凝らしたイベントを企画することで、地域の交流促進や地域活性化に取り組む活動をしています。板敷さんは「この賞は関わってくださったみなさんの賞だと思っています。今後もさらに枕崎を盛り上げるため頑張っていきたいです」と話していました。



市消防団に総務大臣から感謝状 ～総務大臣感謝状贈呈式

枕崎市消防団に対し総務大臣から感謝状が贈られ、2月17日に日本消防会館において贈呈式が開催されました。

この感謝状は、消防団員の確保を通じた地域防災体制の充実や地域の安全安心の確保に対する功績が認められた全国22市町村に今回初めて贈呈されたものです。